

河川の護岸・橋梁工事などにおける 河川生物の調査・保全対策のご案内

建設コンサルタント建 24 第 7493 号：建設環境、廃棄物

河川の護岸・橋梁工事などにおける 河川生物の生息調査・保全対策をお考えですか？

平成 19 年 11 月 27 日、生物多様性の保全と持続可能な利用に関わる国の施策の目標と取組の方向を定めた「第三次生物多様性国家戦略」が閣議決定されました。この戦略では、「生物の生息・生育環境の保全・再生」について「単に特定の希少種だけの保全などを行うのではなく、河川などが本来有する多様な生物の生息・生育の場の保全・再生を進めていく」とされています。

当協会では、水質・底質などの生物生息環境調査、魚類、水生昆虫などの水生生物、陸上の動植物に至る生態系の調査・分析、影響検討から保全対策まで、経験豊かなスタッフが一貫して業務を行います。また、保全対策については工事の特性および、保全する生物の生態などを考慮して、最良の提案をいたします。



業務の流れ



● 現地調査

- ・ 魚類、水生昆虫などの生物調査
- ・ p H、濁度、SS などの水質調査
- ・ 河床材料、瀬・淵などの物理環境調査
- ・ 陸上の動物、植物などの調査



● 工事区域の生物生息環境の把握 (生態系ピラミッドの整理)

- ・ 重要な生息環境の抽出
- ・ 上、下流との関連性の把握
- ・ 影響を受けやすい種の抽出



● 影響把握

- ・ 護岸・橋梁の存在による影響予測
- ・ 工事中の掘削、濁水の影響予測
- ・ 希少種や生態系への影響予測



● 保全対策の検討

- ・ 工事・工法・期間
- ・ 濁水防止対策
- ・ 生息空間の保全対策
- ・ 希少種の移殖方法、場所
- ・ 代替措置



一般財団法人

九州環境管理協会

〒813-0004 福岡市東区松香台1-10-1

TEL 092-662-0410

FAX 092-662-0411(代表) 092-662-0424(水生生物調査課)

e-mail:syougai@keea.or.jp <http://www.keea.or.jp>

水生生物・水環境調査関係

：環境部 水生生物調査課

料金・見積担当：総務部 渉外課